

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 青木あゆ子
(川崎市立旭町小学校)
令和4年 7月
担当 川中島小学校 中田 浩史

夏季共催研修(7/27)報告号

令和4年7月28日、川崎市立西御幸小学校をお借りして情報・視聴覚センターと情報教育研究会との共催研修を行いました。研修のねらいは、「GIGA端末を活用し、情報活用能力の育成を意識した授業づくりができるようになる。」です。

午前の端末活用研修の部では、「情報モラルの教え方(授業編)」「情報モラルの教え方(日常編)」「GIGAたんでLet'sビブリオバトル!」、「GIGAたんでLet's読書感想文!」、「自分のペースで視聴しよう! NHK for school!」、「NHK for school 新コンテンツの活用法!」、「準備も指導も簡単! classroom活用法!」、「授業で使おうアプリケーション活用法!(映像など)」の8つの講座の中から参加者の興味や関心のある講座を2つ選び、受講しました。

午後の部では、各学年ごとに分かれて常任委員の日常でのGIGA端末の使い方や、授業での活用場面などの実践紹介や情報交換、課題の共有などの後、夏休み明けをイメージした授業づくり研修を行いました。

同じ学年ならではの悩みや児童の様子を共有しながら、午前中に学んだことを生かしてGIGA端末を活用した授業づくりを行いました。実際に教科書を見ながら、「フォーム機能を使ってみよう」「この時間にNHK for schoolの動画を視聴させて深めよう」、「学級会でJAMboardを使おう」といった声が多く聞かれました。その場で自分のクラスのクラスルームに作ったスライドをアップしている参加者もいました。

最後に、情報・視聴覚センターの禿信成指導主事より指導講評をいただきました。「研修参加者からは、情報モラルへの関心の高さが伺えた。日常のトラブルは成長のチャンスと捉えて、情報モラルにおける判断力の育成・発揮に努めてほしい。また、参加者一人ひとりが端末を使った授業改善に挑戦していたのが印象的だった。授業改善をすると、児童が先生のように、スライドをつかって説明したり、実験で写真を撮ったりと、同じような端末の使い方をするようになる。このことが主体的・対話的で深い学びに繋がってくる。」とご指導いただきました。